

ごとう通信

第 95 号

平成 20 年 11 月 1 日

いよいよ寒くなってきましたね。

薄手のセーターだけでは寒くなり、今年も厚着のシーズンが始まったなという感じです。ただ、最近ではわが家の防寒グッズが充実してきており、以前よりは快適に過ごせるようになってきました。でも、やっぱり寒い季節は苦手です。

さて、今年の秋を振り返ると、なんとも充実しない秋でした。昨年は診療以外にも原稿や講演に追われ、本当に時間なく過ごしていましたが、とても充実していた気がします。しかし、今年は原稿の連載が終わったり、講演が少なかったりと、ぽっかり十月の予定が空いてしまいました。

もちろん診療の方は平常どおりだったのですが。時間ができた分、読書をしたり、新たな勉強をしたりすれば良いのですが（実際やるつもりはあったのですが）、なぜか時間が

あると何もする気がしなくなり、無駄な時間だけ増えてしまいました。

今年の十一月はいつも以上に予定が目白押しです。中には初挑戦の企画もあり、今から緊張しています。少しは充実した冬のスタートになるでしょうか。



歯が痛くなる時

あるとき、僕の左上の奥歯が痛く

なりました。と言っても、眠れない痛みではなく、噛むと響いてしまい力が入らないのです。僕はすぐに最近の生活を思い浮かべ、「しようがないなあ」と納得してしまいました。皆さんは何が起きたと思いますか？

歯の痛みにはいくつかの種類があります。一番代表的なものはむし歯の痛みで、何もしていなくてもズキズキして夜も眠れないというものです（経験したことがある方は決して思い出したくないものですよ）。一方、今回の僕の痛みは、「噛むと痛い」というものです。この違いは何かと言うと、むし歯の痛みは歯の中にある神経が炎症を起こしているのですが、噛むと痛いというのは歯の根を支えている組織の神経が傷んでいるのです。よく「歯の神経を抜いたのになぜ痛いのか」と聞かれますが、歯を